

大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請書における科目区分	科目名	単位数	複数開講クラス数	担当教員	実務経験のある教員による授業科目等-要件①:担当教員の 実務経験	実務経験のある教員による授業科目等-要件②:実践的な教育の取組	法経メ ス心 2024年 度～	法経メ 心2021 ～2023 年度	スポーツ科学 部 2020～ 2023年 度	法経メ 現心 2017～ 2020年 度	備考
全学共通科目 (学部等に関わらず履修できる授業科目)	地域インターンシップ／インターンシップⅠ	4		佐古 年穂／松平 光徳／青野 正太／小林 奈穂美／石川 清貴	「主として実践的教育から構成される授業」	事前研修:企業等で活躍されている方の体験談等を聞く。企業・団体:実際にその一員として働く。	◎	◎	◎	◎	・法・経済経営・メディア情報学部2021年度以降入学者適用カリキュラム及び全学部2024年度以降入学者適用カリキュラムは「地域インターンシップ」として開設。 ・スポーツ科学部2020年度から2023年度入学者適用カリキュラム、法・経済経営・メディア情報・現代文化学部2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「インターンシップⅠ」として開設。
	課題解決プロジェクト／インターンシップⅡ ブラコン	2		太田 康友	「主として実践的教育から構成される授業」	①「輝け！飯能プランニングコンテスト」、②地域を紹介する映像製作	◎	◎	◎	◎	・法・経済経営・メディア情報・心理学部2021年度以降入学者適用カリキュラム及び全学部2024年度以降入学者適用カリキュラムは「課題解決プロジェクト」として開設。 ・スポーツ科学部2020年度から2023年度入学者適用カリキュラム、法・経済経営・メディア情報・現代文化・心理学部2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「インターンシップⅡ」として開設。
	課題解決プロジェクト／インターンシップⅡ 映像制作			間島 貞幸	テレビ業界で20年以上ディレクターとして番組制作を担当	時には現場で制作指導を行う	◎	◎	◎	◎	
	課題解決プロジェクト／インターンシップⅡ 岩手の魅力をPR			船場 ひさお	民間企業において約15年間、公共空間の音環境デザインや新規ビジネスの企画・立案・実施などを担当	学生と企業が協働し、駅のサイン音をデザインするプロジェクトを主導	◎	◎	◎	◎	
	森林文化A／森林文化Ⅰ	2		平井 純子／乗松 優／西村 拓郎／田島 哲也	林業家(田島)、森林インストラクターであり、インタープリターとして活動している。(平井、西村)	森林作業の実際の指導(田島)、森林の維持と管理方法、里山の維持、間伐の実践などの実習指導を行う(平井、西村)	◎	◎	◎	◎	・法・経済経営・メディア情報・心理学部2021年度以降入学者適用カリキュラム及び全学部2024年度以降入学者適用カリキュラムは「森林文化A」として開設。 ・スポーツ科学部2020年度から2023年度入学者適用カリキュラム、法・経済経営・メディア情報・現代文化・心理学部2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「森林文化Ⅰ」として開設。
	森林文化B／森林文化Ⅱ	2		平井 純子／乗松 優／西村 拓郎／田島 哲也	林業家(田島)、森林インストラクターであり、インタープリターとして活動している。(平井、西村)	森林作業の実際の指導(田島)、森林の維持と管理方法、里山の維持、間伐の実践などの実習指導を行う(平井、西村)	◎	◎	◎	◎	・法・経済経営・メディア情報・心理学部2021年度以降入学者適用カリキュラム及び全学部2024年度以降入学者適用カリキュラムは「森林文化B」として開設。 ・スポーツ科学部2020年度から2023年度入学者適用カリキュラム、法・経済経営・メディア情報・現代文化・心理学部2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「森林文化Ⅱ」として開設。
	飯能学	2		平井 純子	飯能市エコツーリズム推進協議会委員を2012年から担い、2014～20年はその会長を担った。	飯能市エコツーリズム推進協議会委員としてその活動に携わった教員が現状や現地調査等について解説を行う。	◎	◎	◎	◎	
	地域と金融	2		山田 佳美	飯能信用金庫の職員さんによるオムニバス方式での講義	信用金庫の役割・融資業務・資産運用の実際の取引について解説されます。	◎	◎	◎	◎	
	地域と歴史	2		尾崎 泰弘／宮内 慶介／村上 達哉	博物館学芸員や文化財担当者として、地域の歴史・文化を研究し、その成果を市民に伝えてきた。	地域史料や文化財などに基づいた豊かな地域の歴史像を解説する。	◎	◎	◎	◎	
	現代社会とメディア	2		小野 雅史	民間の映像総合サービス企業において35年間、映像コンテンツの企画制作を担当中	机上の理論だけではなく、ビジネスとクリエイティブのリアルな話題を盛り込んだ授業を実施	◎	◎	◎	◎	
全学共通科目合計単位数							18	18	18	18	

大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請書における科目区分	科目名	単位数	複数開講クラス数	担当教員	実務経験のある教員による授業科目等-要件①:担当教員の 実務経験	実務経験のある教員による授業科目等-要件②:実践的な教育の取組	法経メ ス心 2024年 度～	法経メ 心2021 ～2023 年度	スポーツ科学 部 2020～ 2023年 度	法経メ 心現心 2017～ 2020年 度	備考
法学部法律科学部等共通科目 (当該学部にも所属すれば学科に関わらず履修できる授業科目)	文化人類学A／文化人類学Ⅰ	2		村上 大輔	専門旅行社の現地駐在員・観光ガイドとして七年間海外での勤務経験がある。	異文化体験の意義とその内奥について解説する。	◎	◎	—	◎	・法・経済経営・メディア情報・心理学部2021年度以降入学者適用カリキュラム及び全学部2024年度以降入学者適用カリキュラムは「文化人類学A」として開設。 ・スポーツ科学部2020年度から2023年度入学者適用カリキュラム、法・経済経営・メディア情報・現代文化・心理学部2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「文化人類学Ⅰ」として開設。
	文化人類学B／文化人類学Ⅱ	2		村上 大輔	専門旅行社の現地駐在員・観光ガイドとして七年間海外での勤務経験がある。	異文化体験の意義とその内奥について解説する。	◎	◎	—	◎	・法・経済経営・メディア情報・心理学部2021年度以降入学者適用カリキュラム及び全学部2024年度以降入学者適用カリキュラムは「文化人類学B」として開設。 ・スポーツ科学部2020年度から2023年度入学者適用カリキュラム、法・経済経営・メディア情報・現代文化・心理学部2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「文化人類学Ⅱ」として開設。
	地球科学	2		水井 涼太	(国研)海洋研究開発機構で2年間研究の取りまとめや科学技術行政に従事、環境教育NPOに13年従事	包括的な地球科学と研究に関する解説と真鶴半島での自然分野に関するフィールドワークでの指導を行う。	—	◎	—	◎	
	映像文化論	2		小川 真理子	ポストプロダクション(アニメーションと実写)にて編集アシスタントとして勤務。民間放送事務局の勤務経験	映像制作や演習を行う際に、現場の編集作業やポストプロ業務で得た経験や知識をもとに助言や指導をする。	◎	◎	—	◎	
	世界遺産論	2	2	小林 奈穂美	旅行会社20年(店頭販売・企画・商品造成・販売促進・添乗・人事・人材派遣) 総合旅程管理主任者	企画・商品造成の重要な目的のひとつとなる世界遺産について、実例を示しながら講義を進めます。	◎	◎	—	◎	
	国際経済学Ⅰ	2		石川 清貴	元農林水産省職員。農産物や食品の国際交渉業務を経験。	政策立案の観点から貿易に関する国際問題について解説する。具体的な貿易事例やデータも紹介する。	◎	◎	—	◎	
	法律実務演習A／専門総合講義Ⅰ	2		金森 健一	弁護士として、高齢者の財産管理や資産承継や法律相談等の法律事務に14年間従事	弁護士として訴訟実務や法律相談業務に携わる教員が民事・家事の法律実務を解説する。	◎	◎	—	◎	・2021年度以降入学者適用カリキュラムは「法律実務演習A」として開設。 ・2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「専門総合講義Ⅰ」として開設。
	法律実務演習B／専門総合講義Ⅱ	2		金森 健一	弁護士として、高齢者の財産管理や資産承継や法律相談等の法律事務に14年間従事	弁護士として訴訟実務や法律相談業務に携わる教員が民事・家事の法律実務を解説する。	◎	◎	—	◎	・2021年度以降入学者適用カリキュラムは「法律実務演習B」として開設。 ・2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「専門総合講義Ⅱ」として開設。
	スポーツ栄養学	2	2	石津 達野	公認スポーツ栄養士(管理栄養士)として、スポーツ現場でのサポート活動に従事	公認スポーツ栄養士(管理栄養士)の視点から食生活の基本的な在り方と実践方法について解説します	—	◎	—	◎	
	健康とスポーツの医学／健康とスポーツの医学B	2	2	成田 和穂	アスリートに対する診療やスポーツ現場での救急対応などに20年以上従事。	スポーツ現場での対応について、経験に基づいて解説する。	—	◎	—	◎	・法学部・経済経営学部の2021年度から2023年度入学者適用カリキュラム及びスポーツ科学部は「健康とスポーツの医学B」として開設。 ・法学部・経済経営学部の2017年度から2020年度入学者適用カリキュラム及び現代文化学部の2017年度から2019年度入学者適用カリキュラムは「健康とスポーツの医学」として開設。
	刑事訴訟法A／刑事訴訟法Ⅰ	2		染田 恵	法務省にて、30年余、犯罪者・非行少年の社会内処遇、犯罪予防等の刑事政策関連の実務などに従事した	刑事政策及び関連する福祉・医療・教育等分野での生活課題に、刑事系に限らない多様な現場での対応力を養う	◎	◎	—	◎	・2021年度以降入学者適用カリキュラムは「刑事訴訟法A」として開設。 ・2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「刑事訴訟法Ⅰ」として開設。
	刑事訴訟法B／刑事訴訟法Ⅱ	2		染田 恵	法務省にて、30年余、犯罪者・非行少年の社会内処遇、犯罪予防等の刑事政策関連の実務などに従事した	刑事政策及び関連する福祉・医療・教育等分野での生活課題に、刑事系に限らない多様な現場での対応力を養う	◎	◎	—	◎	・2021年度以降入学者適用カリキュラムは「刑事訴訟法B」として開設。 ・2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「刑事訴訟法Ⅱ」として開設。
	刑事政策A／刑事政策Ⅰ	2		染田 恵	法務省にて、30年余、犯罪者・非行少年の社会内処遇、犯罪予防等の刑事政策関連の実務などに従事した	刑事政策及び関連する福祉・医療・教育等分野での生活課題に、刑事系に限らない多様な現場での対応力を養う	◎	◎	—	◎	・法学部2021年度以降入学者適用カリキュラム及び心理学部2024年度以降入学者適用カリキュラムは「刑事政策A」として開設。 ・法学部2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「刑事政策Ⅰ」として開設。

大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請書における科目区分	科目名	単位数	複数開講クラス数	担当教員	実務経験のある教員による授業科目等-要件①:担当教員の 実務経験	実務経験のある教員による授業科目等-要件②:実践的な教育の取組	法経メ ス心 2024年 度～	法経メ 心2021 ～2023 年度	スポーツ科学 部 2020～ 2023年 度	法経メ 現心 2017～ 2020年 度	備考
法学部法律学科 学部等共通科目 (当該学部にも所属すれば学科に関わらず履修できる授業科目)	刑事政策B／刑事政策Ⅱ	2		染田 恵	法務省にて、30年余、犯罪者・非行少年の社会内処遇、犯罪予防等の刑事政策関連の実務などに従事した	刑事政策及び関連する福祉・医療・教育等分野での生活課題に、刑事系に限らない多様な現場での対応力を養う	◎	◎	—	◎	・法学部2021年度以降入学者適用カリキュラム及び心理学部2024年度以降入学者適用カリキュラムは「刑事政策B」として開設。 ・法学部2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「刑事政策Ⅱ」として開設。
	警察と法	2		染田 恵	法務省にて、30年余、犯罪者・非行少年の社会内処遇、犯罪予防等の刑事政策関連の実務などに従事した	刑事政策及び関連する福祉・医療・教育等分野での生活課題に、刑事系に限らない多様な現場での対応力を養う	◎	◎	—	◎	
	社会保障法	2		東島 日出夫	社会保険庁、日本年金機構で健康保険、年金業務に従事	主に年金制度、健康保険制度の実務面について解説する。	◎	◎	—	◎	
	捜査心理学	2		和智 妙子	警察庁科学警察研究所に19年間の勤務経験があります。	捜査心理学分野の実践・研究に従事している担当教員の下、捜査心理学分野の研究について学びます。	◎	◎	—	◎	
	地域行政と法	2		笹岡 伸矢	飯能市役所の現役職員	①自治体の仕組み、②求められる公務員像、③自治体の取り組み等についてオムニバス方式で講義	◎	◎	—	◎	
	犯罪者処遇の心理学A(矯正)／矯正心理学	2		古曳 牧人	少年鑑別所、刑務所において心理職として10年間勤務	矯正施設において心理職として勤務した教員が、矯正施設における心理学の活用について解説する。	◎	◎	—	—	・法学部及び心理学部2024年度以降入学者適用カリキュラムは「犯罪者処遇の心理学A(矯正)」として開設。 ・法学部及び心理学部2021年度から2023年度入学者適用カリキュラム、心理学部2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「矯正心理学」として開設。
	犯罪被害者の心理／被害者学	2		遊間 千秋	法務省心理技官(12年)、警察少年部門相談員(25年)。臨床心理士29年。スクールカウンセラー4年。	現場での被害者支援体験も踏まえ、現状や問題点についてコメントします。	—	—	—	◎	・心理学部の2021年度以降入学者適用カリキュラムは「犯罪被害者の心理」として開設。 ・法学部及び心理学部の2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「被害者学」として開設。
	司法・犯罪心理学／犯罪心理学Ⅰ(司法・犯罪心理学)	2		古曳 牧人	少年鑑別所、刑務所において心理職として10年間勤務	矯正施設において心理職として勤務した教員が、司法・犯罪領域における心理学について解説する。	—	—	—	◎	・法学部の2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「犯罪心理学Ⅰ(理論)」として開設。 ・心理学部の2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「犯罪心理学Ⅰ(司法・犯罪心理学)」、2021年度以降入学者適用カリキュラムは「司法・犯罪心理学」として開設。
法学部 学部等共通科目合計単位数							32	38	—	40	
法学部法律学科 実務経験のある教員等による授業科目の合計単位数							50	56	—	58	

大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請書における科目区分	科目名	単位数	複数開講クラス数	担当教員	実務経験のある教員による授業科目等-要件①:担当教員の 実務経験	実務経験のある教員による授業科目等-要件②:実践的な教育の取組	法経メ ス心 2024年 度～	法経メ 心2021 ～2023 年度	スポーツ 科学部 2020～ 2023年 度	法経メ 心現心 2017～ 2020年 度	備考
経済経営学部経済経営科学部等共通科目 (当該学部にも所属すれば学科に関わらず履修できる授業科目)	文化人類学A／文化人類学Ⅰ	2		村上 大輔	専門旅行社の現地駐在員・観光ガイドとして七年間海外での勤務経験がある。	異文化体験の意義とその内奥について解説する。	◎	◎	—	◎	・法・経済経営・メディア情報・心理学部2021年度以降入学者適用カリキュラム及び全学部2024年度以降入学者適用カリキュラムは「文化人類学A」として開設。 ・スポーツ科学部2020年度から2023年度入学者適用カリキュラム、法・経済経営・メディア情報・現代文化・心理学部2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「文化人類学Ⅰ」として開設。
	文化人類学B／文化人類学Ⅱ	2		村上 大輔	専門旅行社の現地駐在員・観光ガイドとして七年間海外での勤務経験がある。	異文化体験の意義とその内奥について解説する。	◎	◎	—	◎	・法・経済経営・メディア情報・心理学部2021年度以降入学者適用カリキュラム及び全学部2024年度以降入学者適用カリキュラムは「文化人類学B」として開設。 ・スポーツ科学部2020年度から2023年度入学者適用カリキュラム、法・経済経営・メディア情報・現代文化・心理学部2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「文化人類学Ⅱ」として開設。
	地球科学	2		水井 涼太	(国研)海洋研究開発機構で2年間研究の取りまとめや科学技術行政に従事、環境教育NPOに13年従事	包括的な地球科学と研究に関する解説と真鶴半島での自然分野に関するフィールドワークでの指導を行う。	—	◎	—	◎	
	映像文化論	2		小川 真理子	ポストプロダクション(アニメーションと実写)にて編集アシスタントとして勤務。民間放送事務局の勤務経験	映像制作や演習を行う際に、現場の編集作業やポストプロ業務で得た経験や知識をもとに助言や指導をする。	◎	◎	—	◎	
	世界遺産論	2	2	小林 奈穂美	旅行会社20年(店頭販売・企画・商品造成・販売促進・添乗・人事・人材派遣) 総合旅程管理主任者	企画・商品造成の重要な目的のひとつとなる世界遺産について、実例を示しながら講義を進めます。	◎	◎	—	◎	
	国際経済の基礎	2	2	石川 清貴	元農林水産省職員。農産物や食品の国際交渉業務を経験。	政策立案の観点から貿易に関する国際問題について解説する。具体的な貿易事例やデータも紹介する。	◎	◎	—	◎	
	スポーツ栄養学	2	2	石津 達野	公認スポーツ栄養士(管理栄養士)として、スポーツ現場でのサポート活動に従事	公認スポーツ栄養士(管理栄養士)の視点から食生活の基本的な在り方と実践方法について解説します	—	◎	—	◎	
	健康とスポーツの医学／健康とスポーツの医学B	2	2	成田 和穂	アスリートに対する診療やスポーツ現場での救急対応などに20年以上従事。	スポーツ現場での対応について、経験に基づいて解説する。	—	◎	—	◎	・法学部・経済経営学部の2021年度から2023年度入学者適用カリキュラム及びスポーツ科学部は「健康とスポーツの医学B」として開設。 ・法学部・経済経営学部の2017年度から2020年度入学者適用カリキュラム及び現代文化学部の2017年度から2019年度入学者適用カリキュラムは「健康とスポーツの医学」として開設。
	国際経済学Ⅰ	2		石川 清貴	元農林水産省職員。農産物や食品の国際交渉業務を経験。	政策立案の観点から貿易に関する国際問題について解説する。具体的な貿易事例やデータも紹介する。	◎	◎	—	◎	
	異文化間コミュニケーション論Ⅰ	2		村上 大輔	専門旅行社の現地駐在員・観光ガイドとして七年間海外での勤務経験がある。	異文化体験の意義とその内奥について解説する。	◎	◎	—	◎	
	異文化間コミュニケーション論Ⅱ	2		村上 大輔	専門旅行社の現地駐在員・観光ガイドとして七年間海外での勤務経験がある。	異文化体験の意義とその内奥について解説する。	◎	◎	—	◎	
	旅行業法・約款	2		木本 和男	旅行会社で30年間以上勤務をしており、営業・企画・総務・人事・監査など、多様な業務の実務経験がある。	アフターコロナの観光産業の現状等についても現場目線で講義します。	◎	◎	—	◎	
	観光サービス論	2		嶋田 京一	旅行業界での35年の実務経験(営業、販売、企画、手配)及び会社経営は10年目を迎えます。□	現場感覚に基づいたホスピタリティの実践について解説します。□	◎	◎	—	◎	
	テーマパーク実践	2		木本 和男	旅行会社で30年間以上勤務をしており、営業・企画・総務・人事・監査など多様な業務の実務経験がある。	テーマパークだけでなく、旅行業界や観光業界全体の現状についても講義します。	◎	◎	—	◎	
	国内旅行運営	2		木本 和男	旅行会社で30年間以上勤務をしており、営業・企画・総務・人事・監査など、多様な業務の実務経験がある。	アフターコロナの観光産業の現状等についても現場目線で講義します。	◎	◎	—	◎	
	日本地誌／国内観光地理	2		木本 和男	旅行会社で30年間以上勤務をしており、営業・企画・総務・人事・監査など、多様な業務の実務経験がある。	アフターコロナの観光産業の現状等についても現場目線で講義します。	◎	◎	—	◎	・経済経営学部は「日本地誌」として開設。 ・現代文化学部は「国内観光地理」として開設。
	ホテル・ビジネス入門Ⅰ	2		式場 朝夫	ホテル会社40年実務経験。主要接客部門、経営管理、企画・販売促進・教育等多岐にわたる分野の業務に従事。	ホテルビジネスに関する基礎知識と実践的ノウハウを経験を踏まえて解説する。	◎	◎	—	◎	

大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請書における科目区分	科目名	単位数	複数開講クラス数	担当教員	実務経験のある教員による授業科目等-要件①:担当教員の 実務経験	実務経験のある教員による授業科目等-要件②:実践的な教育の取組	法経メ ス心 2024年 度～	法経メ ス心 2021 ～2023 年度	スポーツ科学部 2020～ 2023年 度	法経メ ス心 2017～ 2020年 度	備考
経済経営学部経済経営学科 学部等共通科目 (当該学部所属すれば学科に関わらず履修できる授業科目)	ホテル・ビジネス入門Ⅱ	2		式場 朝夫	ホテル会社40年実務経験。主要接客部門、経営管理、企画・販売促進・教育等多岐にわたる分野の業務に従事。	ホテルビジネスに関する基礎知識と実践的ノウハウを経験を踏まえて解説する。	◎	◎	—	◎	
	ホテルビジネスケーススタディⅠ	2		式場 朝夫	ホテル会社40年実務経験。主要接客部門、経営管理、企画・販売促進・教育等多岐にわたる分野の業務に従事。	ホテルビジネスに関する基礎知識と実践的ノウハウを経験を踏まえて解説する。	◎	◎	—	◎	
	ホテルビジネスケーススタディⅡ	2		式場 朝夫	ホテル会社40年実務経験。主要接客部門、経営管理、企画・販売促進・教育等多岐にわたる分野の業務に従事。	ホテルビジネスに関する基礎知識と実践的ノウハウを経験を踏まえて解説する。	◎	◎	—	◎	
	観光ビジネスケーススタディⅠ	2		嶋田 京一	旅行業界での35年の実務経験(営業、販売、企画、手配)及び会社経営は10年目を迎えます。□	コンセプトの立て方、情報収集力、情報の関連付けおよび広げ方について解説します。□	◎	◎	—	◎	
	宗教とツーリズム	2		村上 大輔	専門旅行社の現地駐在員・観光ガイド(チベット・ヒマラヤ地域)として七年間海外での勤務経験がある。	聖地を解説する観光ガイドの手法を解説する。	◎	◎	—	◎	
	観光とアート	2		村上 大輔	専門旅行社の現地駐在員・観光ガイドとして七年間海外での勤務経験がある。	アートを解説する観光ガイドの手法を解説する。	◎	—	—	—	
経済経営学部 学部等共通科目合計単位数							40	44	—	44	
経済経営学部経済経営学科 実務経験のある教員等による授業科目の合計単位数							58	62	—	62	

大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請書における科目区分	科目名	単位数	複数開講クラス数	担当教員	実務経験のある教員による授業科目等-要件①:担当教員の 実務経験	実務経験のある教員による授業科目等-要件②:実践的な教育の取組	法経メ ス心 2024年 度～	法経メ 心2021 ～2023 年度	スポーツ科学部 2020～ 2023年 度	法経メ 心現心 2017～ 2020年 度	備考
メディア情報学部メディア情報学科 学部等共通科目 (当該学部にも所属すれば学科に関わらず履修できる授業科目)	文化人類学A／文化人類学Ⅰ	2		村上 大輔	専門旅行社の現地駐在員・観光ガイドとして七年間海外での勤務経験がある。	異文化体験の意義とその内奥について解説する。	◎	◎	—	◎	・法・経済経営・メディア情報・心理学部2021年度以降入学者適用カリキュラム及び全学部2024年度以降入学者適用カリキュラムは「文化人類学A」として開設。 ・スポーツ科学部2020年度から2023年度入学者適用カリキュラム、法・経済経営・メディア情報・現代文化・心理学部2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「文化人類学Ⅰ」として開設。
	文化人類学B／文化人類学Ⅱ	2		村上 大輔	専門旅行社の現地駐在員・観光ガイドとして七年間海外での勤務経験がある。	異文化体験の意義とその内奥について解説する。	◎	◎	—	◎	・法・経済経営・メディア情報・心理学部2021年度以降入学者適用カリキュラム及び全学部2024年度以降入学者適用カリキュラムは「文化人類学B」として開設。 ・スポーツ科学部2020年度から2023年度入学者適用カリキュラム、法・経済経営・メディア情報・現代文化・心理学部2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「文化人類学Ⅱ」として開設。
	地球科学	2		水井 涼太	(国研)海洋研究開発機構で2年間研究の取りまとめや科学技術行政に従事、環境教育NPOに13年従事	包括的な地球科学と研究に関する解説と真鶴半島での自然分野に関するフィールドワークでの指導を行う。	—	◎	—	◎	
	映像文化論	2		小川 真理子	ポストプロダクション(アニメーションと実写)にて編集アシスタントとして勤務。民間放送事務局の勤務経験	映像制作や演習を行う際に、現場の編集作業やポストプロ業務で得た経験や知識をもとに助言や指導をする。	◎	◎	—	◎	
	世界遺産論	2	2	小林 奈穂美	旅行会社20年(店頭販売・企画・商品造成・販売促進・添乗・人事・人材派遣) 総合旅程管理主任者	企画・商品造成の重要な目的のひとつとなる世界遺産について、実例を示しながら講義を進めます。	◎	◎	—	◎	
	メディアと情報資源	2		船場 ひさお ／竹内 俊彦 ／青野 正太 ／斎賀 和彦 ／城井 光広 ／高田 昌裕	各担当教員は、映像制作会社、デザイン事務所、エンジニアリング企業、公立図書館など第一線で活躍	各担当教員は、各コースに関連する具体的な課題解決に取り組む授業プログラムを展開	◎	◎	—	◎	
	メディアリテラシー	2		曾根 真弘	映像制作15年以上、WEBメディアでの取材も担当。	メディアの仕事に従事している教員が解説。	◎	◎	—	◎	
	テクニカルコミュニケーション基礎	2		山口 純治	マニュアルの設計・ライティング・評価・指導など、TCに関する業務に30年以上従事しています。	思考技術、情報整理術、わかりやすい伝え方、わかりやすい?章を書くための技術等の指導経験が豊富です。	◎	◎	—	—	
	デジタルフォト実習	1		斎賀 和彦	職業フォトグラファー歴 十数年	実際の制作を模した模擬制作、および、プレゼンテーションと講評を組み込んだ課題制作を実施する。	◎	◎	—	◎	
	デジタルフォト実習			高田 昌裕	15年間、大手印刷会社の撮影部に同行し、数多くの各種新製品を用いた作例写真の撮影業務に参加。	撮影環境に則したカメラセッティングや画像処理の知識などを、実際に撮影を行いながら解説、指導をする。	◎	◎	—	◎	
	映像制作実習	1		間島 貞幸	テレビディレクターとして20年間、番組制作を担当した。	番組制作の経験に基づいた解説をする。	◎	◎	—	◎	
	映像制作実習		2	林 和哉	エンターテインメントに携わって36年、映像のプロデューサー/ディレクターとして26年の実務経験	・実務の具体例を用いて、理論を分かりやすく説明。 ・実際の現場で行われる議論を提供し、思考を深める。	◎	◎	—	◎	
	音響学概論／音響メディア論	2		船場 ひさお	民間企業において約15年間、公共空間の音環境デザインや新規ビジネスの企画・立案・実施などを担当	一実際に自分の耳で音を聞き、確認しながら学習を進める取組を実施する。	◎	◎	—	◎	・2024年度以降入学者適用カリキュラムは「音響学概論」として開設。 ・2023年度以前入学者適用カリキュラムは「音響メディア論」として開設。
	情報と分析	2		三木 朋和	新聞社で30年間、記者・編集者・データ担当として従事	情報収集と分析能力の向上に資する、実情に即した講義	◎	◎	—	◎	
	図書館情報学	2		青野 正太	公共図書館司書としての業務経験	専任司書職員として図書館業務に取り組んできた経験を活かし、図書館の実情について具体的に解説していく。	◎	◎	—	◎	
	図書館情報資源概論	2		池田 貴儀	専門図書館で10年図書館員として、国内外の資料の収集・整理・保存・提供等の業務に従事	図書館の実務に携わった教員が、図書館情報資源の種類や組織化について解説する	◎	◎	—	◎	
	メタデータ概論	2		関根 禎嘉	企業で約10年間、放送番組のメタデータ作成業務に従事。	メタデータの作成の実際や意義について解説する。	◎	◎	—	◎	

大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請書における科目区分	科目名	単位数	複数開講クラス数	担当教員	実務経験のある教員による授業科目等-要件①:担当教員の 実務経験	実務経験のある教員による授業科目等-要件②:実践的な教育の取組	法経メ ス心 2024年 度～	法経メ 心2021 ～2023 年度	スポーツ科学 部 2020～ 2023年 度	法経メ 現心 2017～ 2020年 度	備考
メディア情報学部メディア情報学科 学部等共通科目 (当該学部にも所属すれば学科に関わらず履修できる授業科目)	デジタル著作権論	2		津田 宏明／ 中里 卓夫	21年(弁護士歴(津田))、14年(弁理士歴(中里))	弁護士としての実務経験を活かして、著作権に関する教育を行う(津田)。弁理士としての実務経験を活かして、著作権に関する教育を行う(中里)。	◎	◎	—	◎	
	色彩概論	2		井上 智史	グラフィックデザイン(20年間)	20年間グラフィックデザインに携わった教員により、実際の業務に必要な知識をふまえて解説を行う。	◎	◎	—	—	
	ライティング演習	2		小川 真理子	民間放送局の団体事務局長として米国放送協会とビジネス文書のやり取り。	ビジネスで活用できるEメールや文書を課題の例文として取り入れる。	◎	◎	—	—	
	映像ジャーナリズム論	2		間島 貞幸	テレビディレクターとして20年間、番組制作を担当	番組制作を担当した経験から作り手の意図について解説する。	◎	◎	—	—	
	映像編集技術論	2		高田 昌裕	映像制作会社経営経験(約10年)	映像カメラマンとして映像制作も行う教員が、現場の現状や流れなどを解説する。	◎	◎	—	◎	
	映像ストーリー論	2		林 和哉	エンターテインメントに携わって36年、映像のプロデューサー/ディレクターとして26年の実務経験	・実務の具体例を用いて、理論を分かりやすく説明。・実際の現場で行われる議論を提供し、思考を深める。	◎	◎	—	◎	
	コンテンツアナライズ論	2		小川 真理子	ポストプロダクション(アニメーションと実写)にて編集アシスタントとして勤務。民間放送事務局の勤務経験	映像制作や演習を行う際に、現場の編集作業やポストプロ業務で得た経験や知識をもとに助言や指導をする。	◎	◎	—	◎	
	ウェブ映像論	2		林 和哉	エンターテインメントに携わって36年、映像のプロデューサー/ディレクターとして26年の実務経験	・実務の具体例を用いて、理論を分かりやすく説明。・実際の現場で行われる議論を提供し、思考を深める。	◎	◎	—	—	
	CM制作論	2		斎賀 和彦	テレビCMディレクター(10年)	実際の制作を想定した課題提示と、プレゼンテーションと講評を組み込んだ双方向授業を実施する。	◎	◎	—	◎	
	音響制作実習Ⅱ	1		船場 ひさお	東京タワー展望台,日産スタジアム外周,東京競馬場,などの音環境デザインを担当。	学生と企業が協働し,駅のサイン音をデザインするプロジェクトを主導	◎	—	—	—	
	ウェブデザイン論	2		井田 志乃	Webサイトのプランニング業務に4年以上従事	実務経験に基づいた実践的なサイト設計について指導する。	◎	◎	—	◎	
	グラフィックデザイン論／ (DTP)	2		井上 智史	グラフィックデザイン(20年間)	20年間グラフィックデザインに携わった教員により、実際の業務に必要な知識をふまえて解説を行う。	◎	—	—	◎	・2021年度以降入学者適用カリキュラムは「グラフィックデザイン論」として開設。 ・2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「グラフィックデザイン論(DTP)」として開設。
	アニメーション制作論	2		伊東 耕平	アニメーション制作会社で19年間、作品制作および人材育成、制作環境整備等の業務に従事している。	実務経験をともに、アニメーションの産業や制作手法、技術について解説する。	◎	◎	—	◎	
	アニメーション作画基礎	1		伊與木 聡	プロのアニメーションの現場で17年間、2D動画、2D原画、3Dアニメーションに従事している。。	アニメーターとして経験を積んだ教員が、実務経験を基に、アニメ制作現場の動画工程に関する実習を行う。	◎	◎	—	◎	
	ネットワークサービス論	2		館 秀典	ネットワーク設計、構築、運用	ネットワーク設計演習等	◎	◎	—	◎	
	情報セキュリティ論	2		白石 行広	情報処理企業のシステムエンジニアを32年経験	多彩な情報システム設計経験や企業で実践されている経験を講義に取り組む	◎	◎	—	◎	
	情報サービス論	2		松野 南紗恵	レファレンスサービスの回答業務や閲覧業務に従事。	情報サービスに関する実例を多数紹介する。	◎	◎	—	◎	
	児童サービス論	2		松野 南紗恵	図書館においてレファレンスサービスの回答業務や閲覧業務に従事。	現場における実例を多く紹介し、子どもと本をつなげるさまざまな方法について講義する。	◎	◎	—	◎	
	図書館情報技術論	2		池田 貴儀	専門図書館で10年、国立研究所で4年、国際的なデータベース運用や研究成果管理システムの運用に従事	システムの運用・管理の実務に携わった教員が、図書館で必要とされる情報技術等について解説する	◎	◎	—	◎	
	記録管理論	2		石橋 慶憲	記録情報管理分野の企業で21年、記録情報管理業務に従事。	記録管理の実務に携わっている教員が、文書管理の意義や目的、実務的なノウハウについて解説する。	◎	◎	—	◎	
	記録情報実習	1		木下 純子	記録情報管理における企業コンサルタント30年、社員教育研修の企画運営と講師3年、大学講師4年	企業や官公庁における、記録情報管理の実務経験を基に、実例と実践的かつ具体的な管理手法を解説する。	◎	◎	—	◎	
	ネットコンテンツ論	2		三木 朋和	新聞社で30年間、記者・編集者・データ担当として従事	情報収集と分析能力の向上に資する、実情に即した講義	◎	◎	—	—	

大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請書における科目区分	科目名	単位数	複数開講クラス数	担当教員	実務経験のある教員による授業科目等-要件①:担当教員の 実務経験	実務経験のある教員による授業科目等-要件②:実践的な教育の取組	法経メ ス心 2024年 度～	法経メ 心2021 ～2023 年度	スポーツ科学 部 2020～ 2023年 度	法経メ 心現心 2017～ 2020年 度	備考
メディア情報学部メディア情報学科 学部等共通科目 (当該学部にも所属すれば学科に関わらず履修できる授業科目)	電子文書と記録管理	2		石橋 慶憲	記録情報管理分野の企業で21年、記録情報管理業務に従事。	記録管理の実務に携わっている教員が、電子文書管理の課題や問題点について解説する。	◎	◎	—	◎	
	映像演出論	2		小川 真理子	ポストプロダクションに編集助手として従事。	映像作品の構成・カメラワーク・編集を分析する取り組みを行う。	◎	◎	—	◎	
	映像作品研究	2		林 和哉	エンターテインメントに携わって36年、映像のプロデューサー/ディレクターとして26年の実務経験	・実務の具体例を用いて、理論を分かりやすく説明。・実際の現場で行われる議論を提供し、思考を深める。	◎	◎	—	◎	
	制作技術論	2		高田 昌裕	映像制作会社経営経験(約10年)	実際に映像カメラマンとして海外にも出向き、映像制作も行う教員が解説する。	◎	◎	—	◎	
	CM制作研究	2		川名 周	広告会社情報堂にて30年以上、マーケティングコミュニケーション、デジタルコミュニケーション分野を担当	広告意図をデモンストラクションするための双方向型実習を行う	◎	◎	—	◎	
	デジタル撮影応用実習	1		斎賀 和彦	商業動画制作二十余年 / DaVinci Resolve認定トレーナー資格	実際の制作に模した課題設定と実技指導	◎	◎	—	—	
	プリプロダクション演習	2		林 和哉	エンターテインメントに携わって36年、映像のプロデューサー/ディレクターとして26年の実務経験	・実務の具体例を用いて、理論を分かりやすく説明。・実際の現場で行われる議論を提供し、思考を深める。	◎	◎	—	◎	
	ポストプロダクション演習	2	2	高田 昌裕	撮影スタッフとして海外に数多く渡航し、商品プロモーションムービー編集も多く手がける。	実際に教員が行ってきた映像制作の経験から、大学内でも行える規模に置き換えて制作を行う。	◎	◎	—	◎	
	メディアデザイン論	2		石島 英和	アニメーション産業での取材・記事執筆等(9年間)	大学院・スクール職員(4年間)・記者教育講師(3年間)	◎	◎	—	◎	
	ウェブ制作論	2		曾根 真弘	WEBメディアで編集・取材を担当。	メディアの仕事に従事している教員が解説。	◎	◎	—	◎	
	グラフィックデザイン演習	2		佐々木 萌	デザイナーとして、フライヤー・ポスター・冊子・展示会パネル、Web制作の業務に8年間従事。	デザイナーとして様々なデザインに携わる教員のもと、印刷物のデザイン制作を行う。	◎	◎	—	◎	
	プレ・ビジュアライゼーション研究	2		佐伯 圭介	3DCG映像をメインに13年間、アニメ、PV、TV番組、ゲーム関連の業務に従事	アニメなどの映像制作にかかわっている教員が、現場での3DCGの活用方法等を解説しながら演習を行う。	◎	◎	—	◎	
	ポスト・ビジュアライゼーション研究	2		館 信一郎	30年以上、アニメーション作品制作における、演出、撮影、CG業務に従事。	主にアニメーションの制作現場での実務経験を基に撮影技術に関する演習を行う。	◎	◎	—	◎	
	創作過程論	2		川名 周	広告業界にて約30年、広告制作に携わってきた実務経験	広告制作で培った企画創作の過程、コミュニケーション形成の重要性を実学的に伝授	◎	◎	—	◎	
	アニメーション作画応用	2		伊與木 聡	プロのアニメーションの現場で17年間、2D動画、2D原画、3Dアニメーションに従事している。	アニメ制作現場の原画工程に関する実習と、ショートアニメ制作の解説を行う。	◎	◎	—	◎	
	アニメーション作品・作家研究Ⅰ	2		栗飯原 君江	CMや特撮・VFX映画のラインプロデュース	映像制作の発展と共に膨大になるスケジュール管理や予算を意識する向き合い方	◎	◎	—	◎	
	アニメーション作品・作家研究Ⅱ	2		栗飯原 君江	CMや特撮・VFX映画のラインプロデュース	映像制作の発展と共に膨大になるスケジュール管理や予算を意識する向き合い方	◎	◎	—	◎	
	アニメーション制作演習	2	2	高田 昌裕	ロトスコープを使用したアニメーション制作	映像制作に携わる教員がデジタル映像という枠でのアニメーションを解説する	◎	◎	—	◎	
	データベース設計論	2	2	白石 行広	情報処理企業のシステムエンジニアを32年経験	多彩な情報システム設計経験や企業で実践されている経験を講義に取り組む	◎	◎	—	◎	
	図書館制度・経営論	2		青野 正太	公共図書館司書としての図書館管理業務の経験	委託や非正規職員の管理に専任司書職員として取り組んできた経験を活かし、具体的に解説していく。	◎	◎	—	◎	
	情報サービス基礎演習／情報サービス演習Ⅰ（基礎）	2		佐藤 正恵	高校・大学・専門図書館、IT企業でレファレンス業務、診療ガイドライン検索に携わる。情報検索技術者1級。	複数の大学や図書館・医療機関等において、学生・教員・市民向けに文献検索講習を行っている。	◎	◎	—	◎	・2021年度以降入学学生適用カリキュラムは「情報サービス基礎演習」として開設。 ・2017年度から2020年度入学学生適用カリキュラムは「情報サービス演習Ⅰ（基礎）」として開設。
	情報サービス発展演習／情報サービス演習Ⅱ（発展）	2		佐藤 正恵	高校・大学・専門図書館、IT企業でレファレンス業務、診療ガイドライン検索に携わる。検索技術者1級。	複数の大学や図書館・医療機関等において、学生・教員・市民向けに文献検索講習を行う。	◎	◎	—	◎	・2021年度以降入学学生適用カリキュラムは「情報サービス発展演習」として開設。 ・2017年度から2020年度入学学生適用カリキュラムは「情報サービス演習Ⅱ（発展）」として開設。

大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請書における科目区分	科目名	単位数	複数開講クラス数	担当教員	実務経験のある教員による授業科目等-要件①:担当教員の 実務経験	実務経験のある教員による授業科目等-要件②:実践的な教育の取組	法経メ ス心 2024年 度～	法経メ 心2021 ～2023 年度	スポーツ科学 部 2020～ 2023年 度	法経メ 現心 2017～ 2020年 度	備考
メディア情報学部メディア情報学科 学部等共通科目 (当該学部にも所属すれば学科に関わらず履修できる授業科目)	図書館総合演習	2		佐藤 正恵	高校・大学・専門図書館、IT企業で図書館業務や運営に携わる。国際図書館連盟連絡委員を経験。	複数の図書館職能団体での継続教育担当、海外での講演等を行う。	◎	◎	—	◎	
	公文書管理論	2		石橋 慶憲	記録情報管理分野の企業で21年、記録情報管理業務に従事。	実践的な公文書管理の手法や、日本の公文書管理の問題点や課題を解説する。	◎	◎	—	◎	
	記録情報演習	2		木下 純子	記録情報管理における企業コンサルタント30年、社員教育研修の企画運営と講師3年、大学講師4年。	記録情報管理の実例を解説し、実践で活用できる知識と技術を身に付ける。	◎	◎	—	◎	
	博物館概論	2		杉山 正司	博物館で現在まで40年間、学芸員として現場に携わるとともに管理職として博物館マネジメントを実践。	博物館の現場の実例など、テキストなど本では学べない内容を交えることで、関心が持てるような講義を行う。	—	◎	—	◎	
	デジタル・アーカイブズ論	2		野村 正弘	学芸員として15年間登録博物館に勤務し、博物館情報システムのの中にデジタルアーカイブを構築した。	実務経験を基に、デジタルアーカイブの概要について解説する。	—	◎	—	◎	
	博物館経営論	2		杉山 正司	博物館で40年間、学芸員として現場に携わるとともに、館長として博物館マネジメントを実践。	博物館現場の実例など、テキストなど本では学べない内容を交えて、受講生が関心を持てる講義を行う。	—	◎	—	◎	
	博物館資料論	2		尾崎 泰弘	飯能市郷土館(現飯能市立博物館)学芸員として31年間、展示や収集・保存、調査研究等の業務に従事	博物館資料の意義や調査研究活動、博物館資料の収集・整理・活動の理論やその実務について解説する。	—	◎	—	◎	
	博物館展示論	2		丹治 清	展示専門企業で約35年間、全国の博物館等の企画・設計・製作・運営に従事	展示事業のプロデューサーとして実務に従事した教員が展示の意味、作り方、社会的な役割について解説する。	—	◎	—	◎	
	博物館教育論	2		羽田 武朗	博物館で18年間学芸員として、主に教育普及事業の業務に従事	教育普及事業に携わった教員が、自身の実務経験を基に、博物館における教育の特色・意義について解説する。	—	◎	—	◎	
	博物館情報・メディア論	2		杉山 正司	博物館で現在まで40年間、学芸員として現場に携わるとともに管理職として博物館マネジメントを実践。	博物館の現場の実例など、テキストなど本では学べない内容を交えて、受講生が関心の持てる講義を行う。	—	◎	—	◎	
	博物館資料保存論	2		杉山 正司	学芸員として40年以上登録博物館に勤務し、学芸業務全てに従事	現場で実際に資料保存業務を担当してきた教員が、実践に基づき講義する	—	◎	—	◎	
	博物館実習Ⅰ	2		杉山 正司	学芸員として35年間登録博物館に勤務し、学芸業務全てに従事	実習生を受け入れる側として博物館で学芸業務全般に携わってきた教員が実務的な指導を行う。	—	◎	—	◎	
	博物館実習Ⅱ	2		杉山 正司	学芸員として35年間登録博物館に勤務し、学芸業務全てに従事	実習生を受け入れる側として博物館で学芸業務全般に携わってきた教員が実務的な指導を行う。	—	◎	—	◎	
メディア情報学部 学部等共通科目合計単位数							114	135	—	124	
メディア情報学部メディア情報学科 実務経験のある教員等による授業科目の合計単位数							132	153	—	142	

大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請書における科目区分	科目名	単位数	履修開設クラス数	担当教員	実務経験のある教員による授業科目等-要件①:担当教員の 実務経験	実務経験のある教員による授業科目等-要件②:実践的な教育の取組	法経メ 心 2024年 度～	法経メ 心 2021 ～2023 年度	スポーツ科学部 2020～ 2023年 度	法経メ 心 2017～ 2020年 度	備考
現代文化学部現代文化科学部等共通科目 (当該学部にも所属すれば学科に関わらず履修できる授業科目)	文化人類学A／文化人類学Ⅰ	2		村上 大輔	専門旅行社の現地駐在員・観光ガイドとして七年間海外での勤務経験がある。	異文化体験の意義とその内奥について解説する。	—	—	—	◎	・法・経済経営・メディア情報・心理学部2021年度以降入学者適用カリキュラム及び全学部2024年度以降入学者適用カリキュラムは「文化人類学A」として開設。 ・スポーツ科学部2020年度から2023年度入学者適用カリキュラム、法・経済経営・メディア情報・現代文化・心理学部2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「文化人類学Ⅰ」として開設。
	文化人類学B／文化人類学Ⅱ	2		村上 大輔	専門旅行社の現地駐在員・観光ガイドとして七年間海外での勤務経験がある。	異文化体験の意義とその内奥について解説する。	—	—	—	◎	・法・経済経営・メディア情報・心理学部2021年度以降入学者適用カリキュラム及び全学部2024年度以降入学者適用カリキュラムは「文化人類学B」として開設。 ・スポーツ科学部2020年度から2023年度入学者適用カリキュラム、法・経済経営・メディア情報・現代文化・心理学部2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「文化人類学Ⅱ」として開設。
	地球科学	2		水井 涼太	(国研)海洋研究開発機構で2年間研究の取りまとめや科学技術行政に従事、環境教育NPOに13年従事	包括的な地球科学と研究に関する解説と真鶴半島での自然分野に関するフィールドワークでの指導を行う。	—	—	—	◎	
	映像文化論	2		小川 真理子	ポストプロダクション(アニメーションと実写)にて編集アシスタントとして勤務。民間放送事務局の勤務経験	映像制作や演習を行う際に、現場の編集作業やポストプロ業務で得た経験や知識をもとに助言や指導をする。	—	—	—	◎	
	世界遺産論	2	2	小林 奈穂美	旅行会社20年(店頭販売・企画・商品造成・販売促進・添乗・人事・人材派遣) 総合旅程管理主任者	企画・商品造成の重要な目的のひとつとなる世界遺産について、実例を示しながら講義を進めます。	—	—	—	◎	
	異文化間コミュニケーション論Ⅰ	2		村上 大輔	専門旅行社の現地駐在員・観光ガイドとして七年間海外での勤務経験がある。	異文化体験の意義とその内奥について解説する。	—	—	—	◎	
	異文化間コミュニケーション論Ⅱ	2		村上 大輔	専門旅行社の現地駐在員・観光ガイドとして七年間海外での勤務経験がある。	異文化体験の意義とその内奥について解説する。	—	—	—	◎	
	観光サービス論	2		嶋田 京一	旅行業界での35年の実務経験(営業、販売、企画、手配)及び会社経営は10年目を迎えます。□	現場感覚に基づいたホスピタリティの実践について解説します。□	—	—	—	◎	
	テーマパーク実践	2		木本 和男	旅行会社で30年間以上勤務をしており、営業・企画・総務・人事・監査など、多様な業務の実務経験がある。	テーマパークだけでなく、旅行業界や観光業界全体の現状についても講義します。	—	—	—	◎	
	旅行業法・約款	2		木本 和男	旅行会社で30年間以上勤務をしており、営業・企画・総務・人事・監査など、多様な業務の実務経験がある。	アフターコロナの観光産業の現状等についても現場目線で講義します。	—	—	—	◎	
	国内旅行運賃	2		木本 和男	旅行会社で30年間以上勤務をしており、営業・企画・総務・人事・監査など、多様な業務の実務経験がある。	アフターコロナの観光産業の現状等についても現場目線で講義します。	—	—	—	◎	
	日本地誌／国内観光地理	2		木本 和男	旅行会社で30年間以上勤務をしており、営業・企画・総務・人事・監査など、多様な業務の実務経験がある。	アフターコロナの観光産業の現状等についても現場目線で講義します。	—	—	—	◎	・経済経営学部は「日本地誌」として開設。 ・現代文化学部は「国内観光地理」として開設。
	健康とスポーツの医学／健康とスポーツの医学B	2	2	成田 和穂	アスリートに対する診療やスポーツ現場での救急対応などに20年以上従事。	スポーツ現場での対応について、経験に基づいて解説する。	—	—	—	◎	・法学部・経済経営学部の2021年度から2023年度入学者適用カリキュラム及びスポーツ科学部は「健康とスポーツの医学B」として開設。 ・法学部・経済経営学部の2017年度から2020年度入学者適用カリキュラム及び現代文化学部の2017年度から2019年度入学者適用カリキュラムは「健康とスポーツの医学」として開設。
	解剖生理学	2		筒井 俊春	アスレティックトレーナーとしてスポーツの現場で選手の健康管理に携わってきた。理学療法士として臨床現場で運動器疾患の治療を行ってきた。	選手の内科的・外科的な健康上の問題に直面してきた経験を講義内容に反映させている。実際の臨床場面で想定される要素を織り交ぜた内容を展開する。	—	—	—	◎	
	専門実技(フィットネスA)／フィットネスエクササイズⅠ	1		永井 綾子	スポーツクラブ・市の健康運動指導などでのフィットネス教室	指導経験や教室運営から指導に必要とされるスキルを演習方式で教授する。	—	—	—	◎	・現代文化学部は「フィットネスエクササイズⅠ」として開設。 ・スポーツ科学部は「専門実技(フィットネスA)」として開設。
	専門実技(フィットネスB)／フィットネスエクササイズⅡ	1		永井 綾子	スポーツクラブ・市の健康運動指導などでのフィットネス教室	指導経験や教室運営から指導に必要とされるスキルを演習方式で教授する。	—	—	—	◎	・現代文化学部は「フィットネスエクササイズⅡ」として開設。 ・スポーツ科学部は「専門実技(フィットネスB)」として開設。
	スポーツ栄養学	2	2	石津 達野	公認スポーツ栄養士(管理栄養士)として、スポーツ現場でのサポート活動に従事	公認スポーツ栄養士(管理栄養士)の視点から食生活の基本的な在り方と実践方法について解説します	—	—	—	◎	

大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請書における科目区分	科目名	単位数	複数開講クラス数	担当教員	実務経験のある教員による授業科目等-要件①:担当教員の 実務経験	実務経験のある教員による授業科目等-要件②:実践的な教育の取組	法経メ ス心 2024年 度～	法経メ 心2021 ～2023 年度	スポーツ科学 部 2020～ 2023年 度	法経メ 現心 2017～ 2020年 度	備考
現代文化学部現代文化学科 学部等共通科目 (当該学部所属すれば学科に関わらず履修できる授業科目)	労働安全衛生法Ⅰ	2		原田 芳幸	厚生労働省に労働基準監督官として勤務し、労働安全衛生業務に従事。	労働基準監督官の職務経験を活かして学生が具体的にイメージでき、社会に出て実践していける講義を行う。	—	—	—	◎	
	労働安全衛生法Ⅱ	2		原田 芳幸	厚生労働省に労働基準監督官として勤務し、労働安全衛生業務に従事。	労働基準監督官の職務経験を活かして学生が具体的にイメージでき、社会に出て実践していける講義を行う。	—	—	—	◎	
	メンタルトレーニング演習／メンタルトレーニング論	2	2	穴戸 渉	スポーツメンタルトレーニング指導士(日本スポーツ心理学会認定)として現場での指導を10年間実施	スポーツメンタルトレーニング指導士である担当教員が、心理検査やメンタルトレーニングの実習を行う。	—	—	—	◎	・現代文化学部は「メンタルトレーニング演習」として開設。 ・スポーツ科学部は「メンタルトレーニング論」として開設。
現代文化学部 学部等共通科目合計単位数							—	—	—	38	
現代文化学部現代文化学科 実務経験のある教員等による 授業科目の合計単位数							—	—	—	56	

大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請書における科目区分	科目名	単位数	複数開講クラス数	担当教員	実務経験のある教員による授業科目等-要件①:担当教員の 実務経験	実務経験のある教員による授業科目等-要件②:実践的な教育の取組	法経メ ス心 2024年 度～	法経メ 心2021 ～2023 年度	スポーツ科学 部 2020～ 2023年 度	法経メ 現心 2017～ 2020年 度	備考
スポーツ科学部スポーツ科学科 学部等共通科目 (当該学部にも所属すれば学科に関わらず履修できる授業科目)	文化人類学A／文化人類学Ⅰ	2		村上 大輔	専門旅行社の現地駐在員・観光ガイドとして七年間海外での勤務経験がある。	異文化体験の意義とその内奥について解説する。	◎	—	◎	—	・法・経済経営・メディア情報・心理学部2021年度以降入学者適用カリキュラム及び全学部2024年度以降入学者適用カリキュラムは「文化人類学A」として開設。 ・スポーツ科学部2020年度から2023年度入学者適用カリキュラム、法・経済経営・メディア情報・現代文化・心理学部2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「文化人類学Ⅰ」として開設。
	文化人類学B／文化人類学Ⅱ	2		村上 大輔	専門旅行社の現地駐在員・観光ガイドとして七年間海外での勤務経験がある。	異文化体験の意義とその内奥について解説する。	◎	—	◎	—	・法・経済経営・メディア情報・心理学部2021年度以降入学者適用カリキュラム及び全学部2024年度以降入学者適用カリキュラムは「文化人類学B」として開設。 ・スポーツ科学部2020年度から2023年度入学者適用カリキュラム、法・経済経営・メディア情報・現代文化・心理学部2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「文化人類学Ⅱ」として開設。
	映像文化論	2		小川 真理子	ポストプロダクション(アニメーションと実写)にて編集アシスタントとして勤務。民間放送事務局の勤務経験	映像制作や演習を行う際に、現場の編集作業やポストプロ業務で得た経験や知識をもとに助言や指導をする。	◎	—	◎	—	
	世界遺産論	2	2	小林 奈穂美	旅行会社20年(店頭販売・企画・商品造成・販売促進・添乗・人事・人材派遣) 総合旅程管理主任者	企画・商品造成の重要な目的のひとつとなる世界遺産について、実例を示しながら講義を進めます。	◎	—	◎	—	
	専門実技(フィットネスA)／フィットネスエクササイズⅠ	1		永井 綾子	スポーツクラブ・市の健康運動指導などでのフィットネス教室	指導経験や教室運営から指導に必要なとされるスキルを演習方式で教授する。	◎	—	◎	—	・現代文化学部は「フィットネスエクササイズⅠ」として開設。 ・スポーツ科学部は「専門実技(フィットネスA)」として開設。
	専門実技(フィットネスB)／フィットネスエクササイズⅡ	1		永井 綾子	スポーツクラブ・市の健康運動指導などでのフィットネス教室	指導経験や教室運営から指導に必要なとされるスキルを演習方式で教授する。	◎	—	◎	—	・現代文化学部は「フィットネスエクササイズⅡ」として開設。 ・スポーツ科学部は「専門実技(フィットネスB)」として開設。
	専門実技(アクア・マリンスポーツ)	1	2	櫻井 健太	JEFF-CMASショップインストラクターとしての実務経験口	大学授業におけるダイビングの導入口	◎	—	◎	—	
	専門実技(セルフディスカバリー)	1		関口 守	青少年および企業研修等、体験学習や冒険教育の場における指導歴25年を有する	アウトワードバウンド協会セルフディスカバリーコースの実施、プロジェクトアドベンチャー型体験学習の提供	◎	—	◎	—	
	メンタルトレーニング演習／メンタルトレーニング論	2	2	矢戸 渉	スポーツメンタルトレーニング指導士(日本スポーツ心理学会認定)として現場での指導を10年間実施	スポーツメンタルトレーニング指導士である担当教員が、心理検査やメンタルトレーニングの実習を行う。	◎	—	◎	—	・現代文化学部は「メンタルトレーニング演習」として開設。 ・スポーツ科学部は「メンタルトレーニング論」として開設。
	健康とスポーツの医学A	2	2	成田 和穂	生活習慣病や心疾患の診療や運動指導に20年以上従事。	運動指導の実際について、経験に基づいて解説する。	◎	—	◎	—	
	解剖生理学	2		筒井 俊春	アスレティックトレーナーとしてスポーツの現場で選手の健康管理に携わってきた。理学療法士として臨床現場で運動器疾患の治療を行ってきた。	選手の内科的・外科的な健康上の問題に直面してきた経験を講義内容に反映させている。実際の臨床場面で想定される要素を織り交ぜた内容を展開する。	◎	—	◎	—	
	スポーツ栄養学	2	2	石津 達野	公認スポーツ栄養士(管理栄養士)として、スポーツ現場でのサポート活動に従事	公認スポーツ栄養士(管理栄養士)の視点から食生活の基本的な在り方と実践方法について解説します	◎	—	◎	—	
	労働安全衛生法Ⅰ	2		原田 芳幸	厚生労働省に労働基準監督官として勤務し、労働安全衛生業務に従事。	労働基準監督官の職務経験を活かして学生が具体的にイメージでき、社会に出て実践していける講義を行う。	◎	—	◎	—	
	労働安全衛生法Ⅱ	2		原田 芳幸	厚生労働省に労働基準監督官として勤務し、労働安全衛生業務に従事。	労働基準監督官の職務経験を活かして学生が具体的にイメージでき、社会に出て実践していける講義を行う。	◎	—	◎	—	
	健康・体力づくり指導法	2		永井 綾子	スポーツクラブ・市の健康運動指導などでのフィットネス教室	指導経験や教室運営から指導に必要なとされるスキルを演習方式で教授する。	◎	—	◎	—	

大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請書における科目区分	科目名	単位数	複数開講クラス数	担当教員	実務経験のある教員による授業科目等-要件①:担当教員の 実務経験	実務経験のある教員による授業科目等-要件②:実践的な教育の取組	法経メ ス心 2024年 度～	法経メ 心2021 ～2023 年度	スポーツ科学 部 2020～ 2023年 度	法経メ 現心 2017～ 2020年 度	備考
スポーツ科学部スポーツ科学科 学部等共通科目 (当該学部にも所属すれば学科に関わらず履修できる授業科目)	健康とスポーツの医学／健康とスポーツの医学B	2	2	成田 和穂	アスリートに対する診療やスポーツ現場での救急対応などに20年以上従事。	スポーツ現場での対応について、経験に基づいて解説する。	◎	—	◎	—	・法学部・経済経営学部の2021年度から2023年度入学者適用カリキュラム及びスポーツ科学部は「健康とスポーツの医学B」として開設。 ・法学部・経済経営学部の2017年度から2020年度入学者適用カリキュラム及び現代文化学部の2017年度から2019年度入学者適用カリキュラムは「健康とスポーツの医学」として開設。
	飯能とスポーツ／健康と文化	2		内藤 隆	スポーツクラブ、サッカークラブのマネジメント業務、多世代への運動指導。健康スポーツ関連の会社経営など	健康スポーツ施設、介護予防施設の社員教育、コンサルティング。地域クラブの講師、企業の健康教育研修など	◎	—	◎	—	・2024年度以降入学者適用カリキュラムは「飯能とスポーツ」として開設。 ・2020年度から2023年度入学者適用カリキュラムは「健康と文化」として開設。
	国際交流とスポーツ	2		橋口 道代	国際協力機構（JICA）職員として約40年間、各種国際協力事業に従事。	国際交流・協力の意義、スポーツと国際交流・協力の具体的な事例を紹介、解説する。	◎	—	◎	—	
スポーツ科学部 学部等共通科目合計単位数		32					32	—	31	—	
スポーツ科学部スポーツ科学科 実務経験のある教員等による授業科目の合計単位数							50	—	49	—	

大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請書における科目区分	科目名	単位数	複数開講クラス数	担当教員	実務経験のある教員による授業科目等-要件①:担当教員の 実務経験	実務経験のある教員による授業科目等-要件②:実践的な教育の取組	法経メ ス心 2024年 度～	法経メ 心2021 ～2023 年度	スポーツ科学部 2020～ 2023年 度	法経メ 現心 2017～ 2020年 度	備考
心理学部心理学 学部等共通科目 (当該学部 に所属すれば学 科に関わらず履修できる授業科目)	文化人類学A／文化人類学Ⅰ	2		村上 大輔	専門旅行社の現地駐在員・観光ガイドとして七年間海外での勤務経験がある。	異文化体験の意義とその内奥について解説する。	◎	◎	—	◎	・法・経済経営・メディア情報・心理学部2021年度以降入学者適用カリキュラム及び全学部2024年度以降入学者適用カリキュラムは「文化人類学A」として開設。 ・スポーツ科学部2020年度から2023年度入学者適用カリキュラム、法・経済経営・メディア情報・現代文化・心理学部2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「文化人類学Ⅰ」として開設。
	文化人類学B／文化人類学Ⅱ	2		村上 大輔	専門旅行社の現地駐在員・観光ガイドとして七年間海外での勤務経験がある。	異文化体験の意義とその内奥について解説する。	◎	◎	—	◎	・法・経済経営・メディア情報・心理学部2021年度以降入学者適用カリキュラム及び全学部2024年度以降入学者適用カリキュラムは「文化人類学B」として開設。 ・スポーツ科学部2020年度から2023年度入学者適用カリキュラム、法・経済経営・メディア情報・現代文化・心理学部2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「文化人類学Ⅱ」として開設。
	地球科学	2		水井 涼太	(国研)海洋研究開発機構で2年間研究の取りまとめや科学技術行政に従事、環境教育NPOに13年従事	包括的な地球科学と研究に関する解説と真鶴半島での自然分野に関するフィールドワークでの指導を行う。	—	◎	—	◎	
	映像文化論	2		小川 真理子	ポストプロダクション(アニメーションと実写)にて編集アシスタントとして勤務。民間放送事務局の勤務経験	映像制作や演習を行う際に、現場の編集作業やポストプロ業務で得た経験や知識をもとに助言や指導をする。	◎	◎	—	◎	
	世界遺産論	2	2	小林 奈穂美	旅行会社20年(店頭販売・企画・商品造成・販売促進・添乗・人事・人材派遣) 総合旅程管理主任者	企画・商品造成の重要な目的のひとつとなる世界遺産について、実例を示しながら講義を進めます。	◎	◎	—	◎	
	人間研究の視点A(人間の多面的理解)／人間研究の視点Ⅰ	2		木塚 隆志／馬場 存	精神科医として常勤・非常勤合わせて30年間精神科診療を行っている(馬場)。	精神科医としての知見と臨床経験を授業内容に反映させて解説する。	—	◎	—	◎	・2021年度から2023年度入学者適用カリキュラムは「人間研究の視点A(人間の多面的理解)」として開設。 ・2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「人間研究の視点Ⅰ」として開設。
	公認心理師の職責／臨床心理学Ⅱ	2		藤川 浩	家庭裁判所調査官等として38年(うち臨床心理士として21年)、スクールカウンセラーとして3年の実務経験	多様な臨床経験に基づいて、心理的支援を行う際に必要な知識、技能及び心得について解説します。	◎	◎	—	◎	・2021年度以降入学者適用カリキュラムは「公認心理師の職責」として開設。 ・2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「臨床心理学Ⅱ」として開設。
	人体の構造と機能及び疾病	2		馬場 存	医師(精神科医)として常勤・非常勤合わせて31年間精神科診療を行っている。	医師としての知識と経験から得た知見を講義内容に取り入れて解説する。	◎	◎	—	◎	
	社会人類学	2		村上 大輔	専門旅行社の現地駐在員・観光ガイド(チベット・ヒマラヤ地域)として七年間海外での勤務経験がある。	聖地を解説する観光ガイドの手法を解説する。	◎	◎	—	◎	
	社会福祉の制度と実践／社会福祉論	2		岡 桃子	子ども家庭支援センターにおいて、社会福祉士として相談業務に従事した。	実務経験のある教員が、現場における相談支援・他職種連携についての事例を取り上げ解説する。	◎	◎	—	◎	・2021年度以降入学者適用カリキュラムは「社会福祉の制度と実践」として開設。 ・2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「社会福祉論」として開設。
	精神疾患とその治療	2		馬場 存	精神科医として常勤・非常勤合わせて31年間臨床に従事しています。	精神科医としての知識と、臨床経験から得た知見を講義内容に取り入れて解説します。	◎	◎	—	◎	
	産業・組織心理学	2		中村 洸太	公認心理師・臨床心理士であり、10年以上の臨床業務経験を有する	現代において必要な知識や現場において役に立てられる技能の習得を目指して講義を行う。	◎	◎	—	◎	
	関係行政論	2	2	相馬 花恵／安藤 聡一郎／馬場 存／中村 有／角田 亮	全担当教員が、5年以上、専門職として心理に関する支援を要する者等の援助活動及びそれに係る教育に従事	臨床経験に基づき、現状や現場での問題点等を適宜伝えていきます。	◎	◎	—	◎	
	心理演習	2	2	相馬 花恵／安藤 聡一郎／馬場 存／中村 有／角田 亮	全担当教員が、5年以上、専門職として心理に関する支援を要する者等の援助活動及びそれに係る教育に従事	要支援者等の心理的な援助活動に携わってきた教員の指導の下、心理面接や支援計画の策定に関する演習を行う	◎	◎	—	◎	
	心理実習Ⅰ	2	2	相馬 花恵／安藤 聡一郎／馬場 存／中村 有／角田 亮	全担当教員が、5年以上、専門職として心理に関する支援を要する者等の援助活動及びそれに係る教育に従事	各心理支援現場での実践経験を持つ担当教員の下、現場の実情を踏まえた具体的指導を行う。	◎	◎	—	◎	

大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請書における科目区分	科目名	単位数	複数開講クラス数	担当教員	実務経験のある教員による授業科目等-要件①:担当教員の 実務経験	実務経験のある教員による授業科目等-要件②:実践的な教育の取組	法経メ ス心 2024年 度～	法経メ 心2021 ～2023 年度	スポーツ科学 部 2020～ 2023年 度	法経メ 現心 2017～ 2020年 度	備考
心理学部心理学科 学部等共通科目 (当該学部にも所属すれば学科に関わらず履修できる授業科目)	心理実習Ⅱ	2	2	相馬 花恵／ 安藤 聡一朗／ 馬場 存／ 中村 有／ 角田 亮	全担当教員が、5年以上、専門職として心理に関する支援を要する者等の援助活動及びそれに係る教育に従事	各心理支援現場での実践経験を持つ担当教員の下、現場の実情を踏まえた具体的指導を行う。	◎	◎	—	◎	
	カウンセリング論／カウンセリングⅡ（来談者中心療法の実際）	2		長沼 佐代子	医療機関、学生相談室等で20年にわたり心理療法を実践し、個人開業オフィスでも精神分析的心理療法を提供。	精神分析的心理療法を日々実践している教員（公認心理師、臨床心理士）が心理臨床面接の実践について解説。	◎	◎	—	◎	・2021年度以降入学者適用カリキュラムは「カウンセリング論」として開設。 ・2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「カウンセリングⅡ（来談者中心療法の実際）」として開設。
	健康・医療心理学	2		中村 有	クリニック、大学病院、大学附属心理相談センターにおいて計17年間、心理職として臨床業務・心理教育に従事	専門健康心理士として医療現場での心理臨床に従事してきた担当教員により、実例を挙げた講義をおこなう	◎	◎	—	◎	
	障害者・障害児心理学	2		小関 真実	公認心理師、臨床心理士としての実務経験（14年間、現在も継続中）	特別支援教育の実務に従事している担当教員の指導の下、障害児者への基礎的な支援方法について解説する。	◎	◎	—	◎	
	家族療法	2		川邊 讓	心理臨床専門職として30年以上の経験がある。	心理臨床専門職養成のためのスーパーヴィジョン	◎	◎	—	—	
	交流分析	2		川邊 讓	心理臨床専門職として30年以上の臨床実践経験がある。	心理臨床専門職養成のためのスーパーヴィジョン	◎	◎	—	—	
	遊戯療法	2		近藤 育代	心理士として20年以上のカウンセリングを行っています。	カウンセリングの実務に従事している担当教員が、遊戯療法の基本的な考え方について解説します。	◎	◎	—	—	
	面接演習	2		川邊 讓	心理臨床専門職として30年以上の臨床実践経験がある。	心理臨床専門職養成のためのスーパーヴィジョン	◎	◎	—	◎	
	面接演習			金子 亮太	臨床心理士等心理専門職として主に医療分野・教育分野における実務経験	臨床心理士等心理専門職に求められる面接の演習を行う	◎	◎	—	◎	
	心理的アセスメント	2		山口 孝貴	カウンセリング・心理検査業務について、5年以上の実務経験がある教員が担当しています。	公認心理師の資格を有し心理支援の実務に従事する担当教員の指導の下、心理検査に関する実習を行います。	◎	◎	—	◎	
	心理的アセスメント			小関 真実	カウンセリング・心理検査業務について、5年以上の実務経験がある教員が担当しています。	公認心理師の資格を有し心理支援の実務に従事する担当教員の指導の下、心理検査に関する実習を行います。	◎	◎	—	◎	
	心理的アセスメント			八嶽 博敏	カウンセリング・心理検査業務について、5年以上の実務経験がある教員が担当しています。	公認心理師の資格を有し心理支援の実務に従事する担当教員の指導の下、心理検査に関する実習を行います。	◎	◎	—	◎	
	攻撃行動の心理学／攻撃と暴力の心理学	2		和智 妙子	警察庁科学警察研究所に19年間の勤務経験があります。	犯罪心理学分野の実践・研究に従事している担当教員の下、非行に関する基礎的内容について学びます。	◎	◎	—	—	・2024年度以降入学者適用カリキュラムは「攻撃行動の心理学」として開設。 ・2021年度から2023年度入学者適用カリキュラムは「攻撃と暴力の心理学」として開設。
	犯罪者処遇の心理学A（矯正）／矯正心理学	2		古曳 牧人	少年鑑別所、刑務所において心理職として10年間勤務	矯正施設において心理職として勤務した教員が、矯正施設における心理学の活用について解説する。	◎	◎	—	◎	・法学部及び心理学部2024年度以降入学者適用カリキュラムは「犯罪者処遇の心理学A（矯正）」として開設。 ・法学部及び心理学部2021年度から2023年度入学者適用カリキュラム、心理学部2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「矯正心理学」として開設。
	捜査心理学	2		和智 妙子	警察庁科学警察研究所に19年間の勤務経験があります。	捜査心理学分野の実践・研究に従事している担当教員の下、捜査心理学分野の研究について学びます。	◎	◎	—	◎	
	犯罪被害者の心理／被害者学	2		遊間 千秋	法務省心理技官（12年）、警察少年部門相談員（25年）、臨床心理士29年。スクールカウンセラー4年。	現場での被害者支援体験も踏まえ、現状や問題点についてコメントします。	◎	◎	—	◎	・心理学部の2021年度以降入学者適用カリキュラムは「犯罪被害者の心理」として開設。 ・法学部及び心理学部の2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「被害者学」として開設。

大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請書における科目区分	科目名	単位数	複数開講クラス数	担当教員	実務経験のある教員による授業科目等-要件①:担当教員の 実務経験	実務経験のある教員による授業科目等-要件②:実践的な教育の取組	法経メ ス心 2024年 度～	法経メ 心2021 ～2023 年度	スポーツ科学部 2020～ 2023年 度	法経メ 現心 2017～ 2020年 度	備考
心理学部心理学科 学部等共通科目 (当該学部にも所属すれば学科に関わらず履修できる授業科目)	司法・犯罪心理学／犯罪心理学Ⅰ（司法・犯罪心理学）	2		古曳 牧人	少年鑑別所、刑務所において心理職として10年間勤務	矯正施設において心理職として勤務した教員が、司法・犯罪領域における心理学について解説する。	◎	◎	—	◎	・法学部の2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「犯罪心理学Ⅰ（理論）」として開設。 ・心理学部の2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「犯罪心理学Ⅰ（司法・犯罪心理学）」、2021年度以降入学者適用カリキュラムは「司法・犯罪心理学」として開設。
	犯罪社会学	2		角田 亮	保護観察所、刑務所等において保護観察官、調査専門官等として32年間勤務	保護観察官等として勤務した教員が、犯罪や非行に対する社会的アプローチについて解説する。	◎	◎	—	—	
	刑事政策A／刑事政策Ⅰ	2		染田 恵	法務省にて、30年余、犯罪者・非行少年の社会内処遇、犯罪予防等の刑事政策関連の実務などに従事した	刑事政策及び関連する福祉・医療・教育等分野での生活課題に、刑事系に限らない多様な現場での対応力を養う	◎	—	—	—	・法学部2021年度以降入学者適用カリキュラム及び心理学部2024年度以降入学者適用カリキュラムは「刑事政策A」として開設。 ・法学部2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「刑事政策Ⅰ」として開設。
	刑事政策B／刑事政策Ⅱ	2		染田 恵	法務省にて、30年余、犯罪者・非行少年の社会内処遇、犯罪予防等の刑事政策関連の実務などに従事した	刑事政策及び関連する福祉・医療・教育等分野での生活課題に、刑事系に限らない多様な現場での対応力を養う	◎	—	—	—	・法学部2021年度以降入学者適用カリキュラム及び心理学部2024年度以降入学者適用カリキュラムは「刑事政策B」として開設。 ・法学部2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「刑事政策Ⅱ」として開設。
	児童・青年期の発達と臨床／児童・青年期の臨床	2		小関 真実	公認心理師、臨床心理士としての実務経験（14年間、現在も継続中）	臨床活動をしている担当教員の指導の下、児童・青年期に生じやすい問題について解説をする。	◎	◎	—	◎	・2021年度以降入学者適用カリキュラムは「児童・青年期の発達と臨床」として開設。 ・2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「児童・青年期の臨床」として開設。
	成人・老年期の発達と臨床／成人・老年期の臨床	2		佐藤 美和子	臨床心理士として高齢者施設において24年、カウンセリングを行っている。メンタルヘルス関連企業において14年、成人期の心理臨床をおこなっている。	高齢者の臨床の現場やカウンセリングに必要な知識・技術について解説する。成人期の臨床の現場やカウンセリングに必要な知識・技術について解説する。	◎	◎	—	◎	・2021年度以降入学者適用カリキュラムは「成人・老年期の発達と臨床」として開設。 ・2017年度から2020年度入学者適用カリキュラムは「成人・老年期の臨床」として開設。
	教育・学校心理学	2		遊間 千秋	法務省心理技官（12年）、警察少年部専門相談員（25年）。臨床心理士（29年）。スクールカウンセラー（4年）	外部機関から見た学校現場の状況や問題点、またSCから見た学校の課題について随時触れていきます。	◎	◎	—	◎	
	福祉心理学	2		岡 桃子	子ども家庭支援センターにおいて、社会福祉士として5年間の相談業務に従事しました。	児童虐待対応の実務経験のある教員が、現場における心理専門職の多職種連携について解説します。	◎	◎	—	◎	
	キッズビジネス	2		末廣 剛	保育・子育て支援事業を行う企業の幹部として従事	当領域現役実務者の下、リアルな課題や対応方法を学ぶ	◎	◎	—	—	
	子どもと音楽	2		木下 容子	音楽療法士として20年間以上、神経発達症児・者に対する音楽療法実践に従事	音楽療法の実務に従事している担当教員の指導の下で、児童領域での音楽に関する演習を行う	◎	◎	—	—	
	子どもの心の理解と実際	2	2	藤掛 友希／ 相馬 花恵／ 村井 千寿子	担当教員にはカウンセリング・心理検査業務について、5年以上の実務経験がある教員が含まれます。	公認心理師の資格を有する担当教員の指導のもと、地域の子どもに関わるイベントに参加する。	◎	◎	—	—	
	カウンセリングⅠ（心理学的支援法）	2		金子 亮太	臨床心理士等心理専門職として主に医療分野・教育分野における実務経験	臨床心理士等心理専門職に求められる基礎知識の習得を行う	—	◎	—	◎	
心理学部 学部等共通科目合計単位数							74	76	—	60	
心理学部心理学科 実務経験のある教員等による授業科目の合計単位数							92	94	—	78	